

女性のファッションと世間の意見の関連性

3年2組13番 島津萌花
3年3組14番 角田こころ
3年3組23番 中出あかり

Keyword: 「ジェンダーレス」「多様性」「ファッションスタイル」「女性」「偏見」

1. はじめに

ファッションは年齢や性別は関係なく楽しめるものだが、最近出てきたファッションスタイルには偏見や固定概念があり、本当に好きなファッションスタイルができない人が増えてきているを感じた。昔からある固定概念で例を出せば、ランドセルの色などが挙げられる。男の子は青や黒、女の子は赤といった固定概念や、言葉でも「男の子っぽくてかっこいい」や、「女の子らしくて可愛い」などの言葉が使われる。ファッションスタイルの偏見をなくして今よりも少しでも多くの人が自分のとりたいファッションスタイルを取れるようにしていきたいと思ったからだ。その為、私たちは、「自由なファッションスタイルがとれる今の時代に、沢山のファッションスタイルを知り、より多くの人が自分を表現できるようになるにはどうすれば良いのか」という問い合わせはじめに立てた。それに対する仮定として、「今まで知らなかった色々なファッションスタイルを知れ、先入観が減る」と考えた。

2. 序論

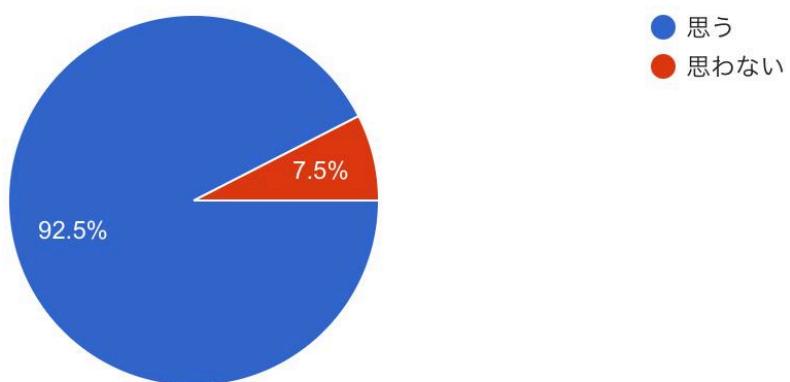
ファッションはただの服ではなく、自分を表す方法や考え方の一部だと思っている。そのため、人がどんな服を選ぶのかや、社会全体が持つイメージとの関係に興味を持つようになった。特に、今の女性ファッションはメディアや広告から大きな影響を受けてきて、それに対する人々の考え方もさまざまだと感じた。例えば、「個性を大切にする人が増えているが、まだまだ固定的なイメージや偏見が残っているのでは」という点に注目した。そこで私たちの探求の目的は、「ファッションに対する世間の意見は、人々の自己表現にどのような影響を与えていたのか」とした。こうしたことから、私は現代社会におけるファッションの役割や、人々の意識を知ることに意味があると考えた。実際の調査として、高校三年生や先生にアンケートを行い、女性ファッションについてどんなイメージや意見を持っているかを調べた。アンケートの内容と結果は以下の通りだ。

①「今の世間にはファッションスタイルに対する偏見の目があると私たちは感じているのですが、あなたはどう思いますか？」

思うが86、思わないが7人だった。

* 今の世間にはファッショントーストに対する偏見の目があると私たちは感じているのですが、あなたはどう思いますか？

93 件の回答

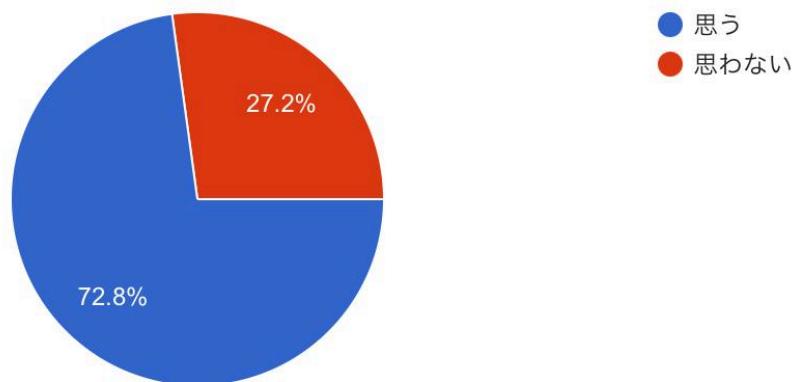


②「ファッションはいちばん手軽に自分を表現できるものだと思うのですが、あなたはファッションを自分の好きなように楽しめているか？」

思うが67人、思わないが25人だった。

* ファッションはいちばん手軽に自分を表現できるものだと思うのですが、あなたはファッションを自分の好きなように楽しめていると思いますか？

92 件の回答



③「今後展示などのイベントを開催しようと考えているのですがもし興味を持ってくれる方がいたら、イベントに参加もしくは私たちと一緒に簡単な手伝いをしてみませんか？」という質問に対して、参加してみたいが52人、手伝ってみたいが20人、興味なしが20人だった。原宿系、ロリータ、地雷、パンク、スナイデル、の写真を掲載しそれぞれどのような印象を持ったか、着てみたいと思ったかを調査した。原宿系の良い印象は派手、個性、盛り方にセンスあるなどが挙げられ、悪い印象は常にこれは嫌、都会でなら可愛い、うるさそうなどが挙げられた。着てみたいという意見はなかった。ロリータの良い印象はお人形さん、お嬢様、礼儀作法がなってそうなどが挙げられ、悪い印象は隣を歩きたくない、街中では浮くなどが挙げられた。可愛いと言う声は多いが着てみたいという人はいなかった。地雷の良い印象はサンリオが好きそう、全身に気を使っている、誰も

が一度は憧れるなどが挙げられ、悪い印象は性格悪そう、治安悪そう、ネットで生きてるなどが挙げられた。着てみたいという人は少しいたが1番マイナスなイメージが多い。パンクの良い印象は話したら優しそう、個性大事に、かっこいいなどが挙げられた。悪い印象は気が強そう、怖い、いかついが挙げられた。見る分に人気だが着てみたい人は少なく、露出に関する意見が多かった。スナイデルの良い印象は上品、大人ぽい、万人受け、お姉さん系などが挙げられ、悪い印象は1人行動しなさそうな、怖いなどが挙げられた。着てみたいという意見があり、好印象だった。私たちが考えた解決策は、誰もが少なからず偏見を持つてしまうことは自然なことだが、それを言葉や行動にしないことで、他人を気にせず自分の好きな服を楽しめる人が増えるのではないかというのだ。

3. 本論

当初は、アンケートで分かったことをもっと多くの人に知つてもらうために、小さな展示会を開くつもりだった。回答の傾向をまとめたパネルや年代ごとの意見の違いがわかるグラフを作つて貼り出したり、流行の変化を時系列で整理した資料も並べたりして、ファッションと世間の意見の関係をわかりやすく見せる予定だった。しかし準備が間に合わず、展示会は実施できなかつた。その結果、この探究ではアンケートの分析だけになつてしまい、直接的な意見や反応を集められなかつたことが課題として残つた。

4. 結論

今後の課題としては、まずアンケートの対象を高校生や教師に限らず、幅広い年代や職業の人へと広げることで、世代間や立場によるファッションの価値観の違いを明らかにする必要がある。またアンケートだけでなくインタビューや実際のファッション選択の観察など、多様な方法を取り入れることで、より具体的に「世間の意見が個人の自己表現にどう影響するのか」を探ることが出来ると言える。さらにメディアやSNSからの情報を分析に加えることで、現代社会におけるファッションの役割をより深く理解できると思う。

5. おわりに

この探求活動を通して、ファッションに対する人の考え方は人によって大きく違うことを学んだ。アンケートでは、個性を大事にして自分の好きな服を選ぶ人もいれば、周りの目を気にして無難な服を選ぶ人もいた。私は今まで、ファッションは「自分の好きな服を好きな時に着るもの」だと思っていたが、実際は他人の意見や社会の雰囲気に合わせて服を選ぶ人も一定数いることに気がついた。このことから、ファッションは自己表現だけでなく、周りとの関わりの中で生まれるものでもあると考えるようになった。

6. 参考文献・出典

Z世代のファッションに関する意識調査 PRTIMES

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000124.000033586.html>

レディースファッションの系統別コードを徹底解説！【永久保存版】jemiremi

https://jemiremi.com/blogs/feature/column_021

服偏見大会 ファッション感について note

<https://note.com/hukuzuki/n/n10f4abb27c91>

人は見かけによらないと知つてゐるのに、つい先入観に制御される私達 かがみよかがみ

<https://mirror.asahi.com/article/15582008>

ファッションの男女二元論にNO！男性がスカートを選べる自由を。【アンコンシャスバイアスを探せ！】VOGUEJAPAN

<https://www.vogue.co.jp/change/article/identifying-unconscious-bias-22>

ファッションとコンプレックスの関係を考える。me and you little magazine

<https://x.gd/IuUpG>

ジェンダーを規定する服装デザインに関する研究 令和3年度卒業研究 石原研究室 関口由莉

<https://sugiyama-sotsuten.com/work/716.html>

ファッションが多様化する時代 アパレル卸企業の方向性とはradchamp

<http://www.radchamp.jp/wordpress/apparel-fashion-202101/>